

2019 全国普及育成担当者会議

<会議後配布資料>



日 時 : 2019年12月22日(日) 13:00~16:00

場 所 : 味の素ナショナルトレーニングセンター 研修室4

主 催 : 日本陸上競技連盟 指導者養成委員会



2019 年度 全国普及育成担当者会議

議 題

2019 年 12 月 22 日(日) 13 時 00 分～16 時 00 分
味の素ナショナルトレーニングセンター研修室 4

1. 指導者養成に関して

日本陸上競技連盟 理事
指導者養成委員会 委員長 山本 浩

2. 指導者養成事業および指導者資格に関して

指導者養成委員会 副委員長 沼澤 秀雄

日本陸連公認指導者資格制度（日本スポーツ協会指導者制度含む）の概要 -資料 1
日本陸連指導者養成の方向性

* 質疑応答

3. 委員会事業関連

3-1 指導者資格および資格者養成講習会

- (1) JAAF 公認コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 3）講習会 -資料 2
2019 年度実施状況および 2020 年度の実施
2020 年度都道府県からの受講者推薦 -資料 3
- (2) JAAF ジュニアコーチ（同 コーチ 1）講習会 -資料 4
2019 年度実施状況および 2020 年度の実施
- (3) 2020 年及び今後の指導者養成
2020 年度 U13 指導者講習会・その他 -資料 5
- (4) コーチングクリニック（2019 年度） -資料 6
- (5) 資格取得および更新研修 -資料 7

3-2 普及事業

- (1) アスリート発掘育成プロジェクト クリニック事業
U16・U13・U10 向け“みんな集まれ!! 陸上運動” -資料 8
- (2) キッズデカスロンチャレンジ
- (3) U16 ブロック研修合宿（2019 年度） -資料 9

3-3 “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会

2019 年(第 35 回)大会およびアンケート結果
2020 年(第 36 回)大会 -資料 10

4. 来年度実施希望調査

-資料 11
-資料 12

* 質疑応答

5. 都道府県陸協における指導者養成

-資料 13

意見交換・その他

* 質疑応答

-資料 14

6. 閉会

J A A F 公認スポーツ指導者の概要

<制度の概要>

2011 年度に指導者制度を改訂し、2012 年度より下記のように指導者養成を実施している。

従来の 4 資格から、J A A F コーチ、J A A F ジュニアコーチの 2 種類に絞り、指導者を養成する。

<旧制度>

<新制度>

資格名	資格名	
	日本スポーツ協会 (JSP0)	J A A F
日本スポーツ協会 公認上級陸上競技コーチ	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 4	設定なし
日本スポーツ協会 公認陸上競技コーチ	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 3	J A A F 公認コーチ
日本スポーツ協会 公認上級陸上競技指導員	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 2	設定なし
日本スポーツ協会 公認陸上競技指導員	日本スポーツ協会 (JSP0) 公認陸上競技コーチ 1	J A A F 公認ジュニアコーチ

資格名		JAAF 公認ジュニアコーチ (JSP0 公認陸上競技コーチ 1)	JAAF 公認コーチ (JSP0 公認陸上競技コーチ 3)
養成目的		発育発達段階を考慮した競技者育成のための基本指導を行える指導者を養成する。	都道府県レベルの競技者の指導、育成、強化にあたる指導者を養成する。
役割		地域スポーツクラブ（スポーツ少年団を含む）等において陸上競技の基礎的な実技指導にあたる。 小・中・高校生の部活動の指導にあたる。	各地域および都道府県での競技者育成・強化にあたる。
会場数/養成数		(2019 年度は 17 会場)	1 会場/年 (60 名程度/年)
受講条件		受講年度の 4 月 1 日現在満 20 歳以上で、現在陸上競技の指導に携わっている者。もしくは将来陸上競技の指導に携わる希望がある者（学生など）で、日本陸上競技連盟指導者養成委員会が認める者。	受講年度の 4 月 1 日現在満 27 歳以上で、都道府県陸上競技協会、または、日本陸上競技連盟が推薦し、日本陸上競技連盟指導者養成委員会が認める者。 日本陸上競技連盟登録者であること。 ※原則ジュニアコーチ有資格者であること。
時間数	共通科目	集合 14h、自宅学習 21h (スポーツリーダー)	集合 40h、その他 112.5h、 計 152.5h (共通Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)
	専門科目	集合 30h、自宅学習 10h 計 40h	集合 40h、通信 20h 計 60h
受講料 * 全て税別		共通科目：10,000 円 (スポーツリーダー) 専門科目：15,000 円	共通科目：20,000 円 専門科目：15,000 円
登録料		初期登録手続き料 3,000 円、登録料 14,000 円/4 年	

* 共通科目は免除になる可能性がある。

＜大会での資格の義務付け＞全国大会の引率資格について

・ 国民体育大会

- ◇ 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認陸上競技コーチ 3、公認陸上競技コーチ 4（以上、JAAF公認コーチ）、または公認陸上競技コーチ 1、公認陸上競技コーチ 2（以上、JAAF公認ジュニアコーチ）の資格を有する者とする。なお、監督、選手兼任の場合も同様とする。

・ “日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会

- ◇ 監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。
- ◇ JAAF公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3・コーチ 4）又は、JAAF公認ジュニアコーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 1・コーチ 2）有資格者
 - ◇ 監督・指導者のうち必ず 1 名は女性の有資格者
 - ◇ 申込時、必ず日本スポーツ協会登録番号（7 桁の数字）の記載が必要

指導者資格有資格者に対する競技会入場特典措置について

概要

日本陸連で行っている、公認指導者資格（JAAF公認コーチ、JAAF公認ジュニアコーチ）有資格者に対して、主催競技会への入場特典措置を実施する。

＜対象者数＞

- 全国で約 4,800 名

＜対象競技会＞

- ゴールデングランプリ
- 日本選手権
- ジュニアオリンピック
- 日本選手権リレー

＜対象席種＞

- 設定がある中で最も安価な席種

入場方法

指定の受付場所に、日本スポーツ協会発行の資格カードと写真入りの本人確認ができるカードを持参し、本人確認の上チケットと交換する。本人以外の使用は認めない。

＜日本スポーツ協会発行指導者登録証のサンプル＞



JSP0 公認スポーツ指導者制度のカリキュラム変更に伴う今後の方針について

現在、日本陸上競技連盟（以下：本連盟）では、日本スポーツ協会（JSP0）の公認スポーツ指導者制度に準じて、JAAF 公認コーチ及び JAAF 公認ジュニアコーチ指導者養成講習会を開催している。

2019 年度から日本スポーツ協会は、スポーツ指導者資格を新たなカリキュラム（図参照）へ移行している。それに伴い、本連盟の指導者養成委員会においても、日本スポーツ協会の新カリキュラムに準じた指導者養成講習会の開催を検討している。

今後、本連盟の主催する指導者養成講習会のカリキュラム等に変更が生じる場合については、その詳細について本連盟事務局より情報配信をする。

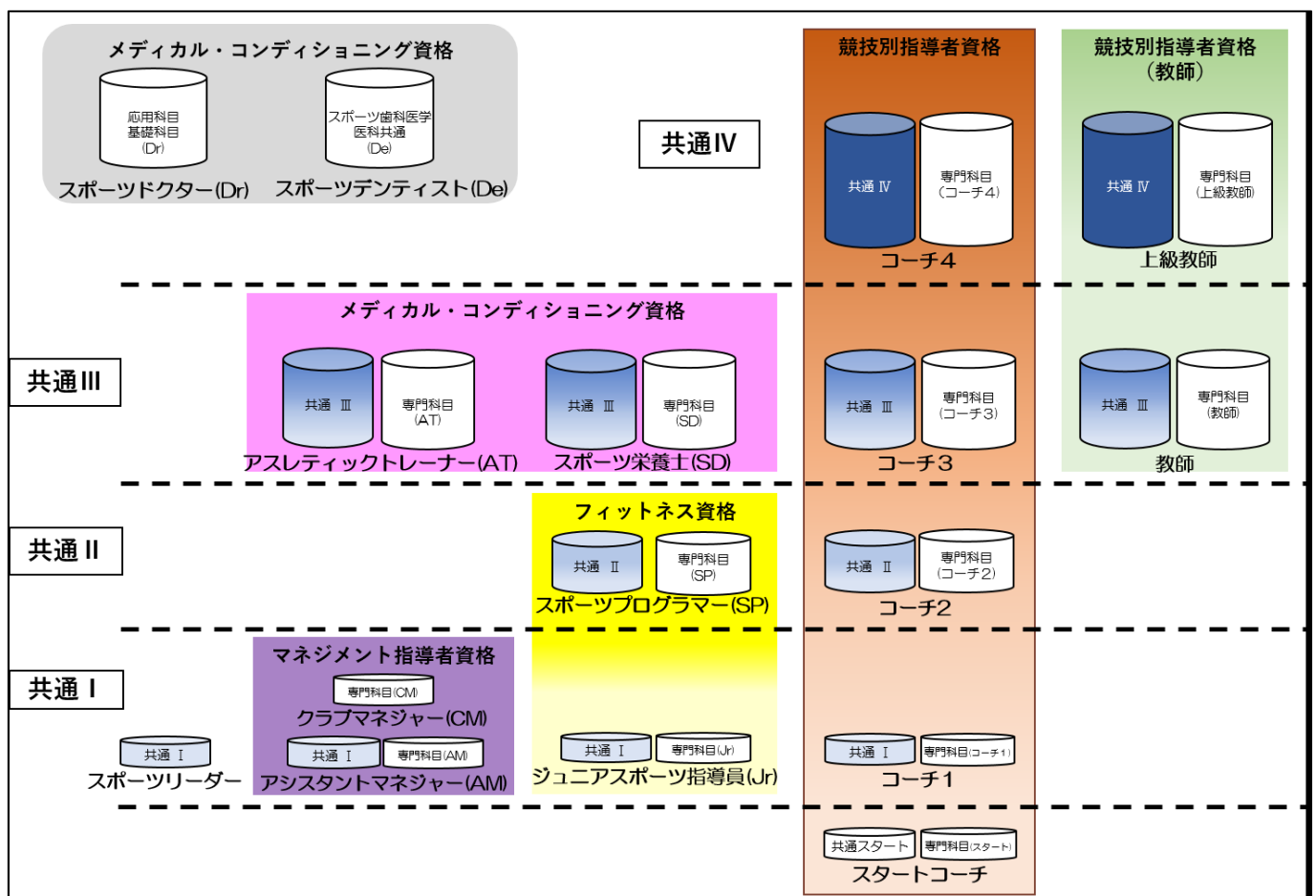


図. 日本スポーツ協会 (JSP0) 公認スポーツ指導者資格のカリキュラム

日本スポーツ協会 HP より引用 (2019 年 12 月 17 日)

<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/katsudousuishin/images/curriculum.png?890>

2020 年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ 3 養成講習会
(陸上競技) 開催要項

1. 目的

地域において、競技者育成のための指導にあたりとともに、広域スポーツセンターおよび各競技別トレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる者を養成する。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会 (JSP0)

公益財団法人日本陸上競技連盟 (JAAF)

3. カリキュラム

共通科目 150 時間 (事前学習及び集合講習)

専門科目 60 時間以上 (集合講習及び自宅学習等)

※時間数は競技によって異なる。

4. 共通科目 (日本スポーツ協会が開催)

共通科目は、事前学習と集合講習、事後学習 (課題レポート) により構成する。

事前学習は、自宅学習とオンラインテスト (e ラーニング) により構成する。

集合講習は、共通科目Ⅲを JSP0 が主催し、各競技合同で実施する。なお、集合講習は、事前学習のオンラインテストの合格が受講の条件となる。

5. 専門科目 (日本陸上競技連盟が開催)

(1) 期日：2020 年 12 月 24 日 (木) ～12 月 27 日 (日) ※予定

(2) 場所：味の素ナショナルトレーニングセンター ※予定

(3) 日程：※決定後提示する

6. 受講者

〈受講条件〉

陸上競技コーチ 3 においては、受講する年の 4 月 1 日現在、満 27 歳以上の者とする。

原則、JAAF 公認ジュニアコーチ有資格者であること。

〈受講者数〉

受講者数は 60 名程度とする。

7. 受講申込み

(1) 受講申込み手続きは、全て日本陸上競技連盟を通じて行う。

(2) 受講希望者は、日本陸上競技連盟を通じて「受講の手引き」を入手すること。

8. 受講料

共通科目：20,000 円 (税別) 専門科目：15,000 円 (税別)

※ 免除審査料については別に定める。

※ 共通科目受講者は、共通科目リファレンスブック代 3,000 円 (税別) を別途徴収する。

9. 受講者の決定

- (1) JSP0 にて、日本陸上競技連盟から提出された申込み内容に基づき審査のうえ受講者を決定し、日本陸上競技連盟及び本人宛に通知する。
- (2) 受講決定者は、日本陸上競技連盟指定の方法により、定められた期日までに上記受講料または免除審査料を納入する。
- (3) 受講決定者は、原則として受講有効期間内（受講開始年度を含め 4 年間）に共通科目と専門科目の全てを修了しなければならない。なお、受講有効期間内に全てを修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。ただし、専門科目講習会が有効期間内に実施されない場合はこの限りではない。

10. 講習・試験の免除

既存資格及び JSP0 免除適応コースの履修等により講習・試験の全てを免除することができる。免除に関する詳細は、別に定める。

11. 検定・審査

- (1) 共通科目は事後学習（課題レポート）による判定とし、JSP0 において審査する。
- (2) 専門科目は技能検定を主体に筆記試験等を加えた総合判定とし、日本陸上競技連盟の指導者養成委員会において審査する。
- (3) 共通科目及び専門科目の検定合格者を「公認コーチ 3 養成講習会修了者」と認める。
- (4) 免除措置適用者における検定については、別に定める。

12. 登録及び認定

- (1) JSP0 からの案内に基づき登録手続き（登録内容の確認および登録料の支払い）完了者に、JSP0 公認コーチ 3「認定証」及び「登録証」を交付する。
- (2) 資格の有効期間は 4 年間とし、資格を更新するためには有効期限の 6 か月前までに、JSP0 または日本陸上競技連盟の定める研修（更新研修）を受けなければならない。

13. 不適切行為について

受講者としてふさわしくない行為があったと認められたときは、JSP0 指導者育成専門委員会で審査し、受講資格及び受講済みの科目を全て取り消す場合がある。

14. 広報について

本講習会風景の写真等は、JSP0 ホームページや SNS、その他関連資料へ掲載する場合がある。

15. 免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の JSP0 が管理できない事由により、研修内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、JSP0 ではその責任を負いかねる。

16. その他

- (1) 講習会受講に際し取得した個人情報、JSP0 及び日本陸上競技連盟が養成講習会関係資料の送付及びコーチ 3 養成関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。
- (2) 本講習会の受講有効期間内に、他の JSP0 公認スポーツ指導者資格の受講はできない。また、他の JSP0 公認スポーツ指導者資格を受講中の場合も受講申込みはできない。

17. 問合せ先

<共通科目について>

公益財団法人日本スポーツ協会 スポーツ指導者育成部 コーチ担当

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12 階

TEL : 03-6910-5812 MAIL : coach@japan-sports.or.jp

<専門科目について>

公益財団法人日本陸上競技連盟 担当 : 田中・磯貝

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9 階

TEL : 050-1746-8410 MAIL : coach@jaaf.or.jp

2019年12月22日

各加盟団体理事長（専務理事）殿

公益財団法人日本陸上競技連盟
指導者養成委員長 山本 浩

2020年度JAAF公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ3） 養成講習会実施に伴う受講希望者の推薦について（お願い）

平素は、日本陸上競技界発展のため格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本連盟では2012年度より指導者制度を現制度に移行し、JAAF公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ3）養成講習会を実施しております。

このJAAF公認コーチ養成の目的としましては“各都道府県にて強化・育成に携わる方”、“選手団の監督・引率を担う（もしくは将来的にそういった役割を担う）方”と位置づけています。

つきましては、貴陸協より上記の趣旨を鑑み、受講希望者をご推薦いただきますよう、お願い致します。ご回答は、**2020年1月31日（金）**までご返送いただくようお願い致します。なお、希望者多数の場合、今年度の受講が出来ない場合もございます。

※2020年度につきましては、諸般の事情により、講習会の開催、受講者数に関して例年以上に制限せざるを得ず、下記の通りといたしますこと、ご理解いただけますよう、お願い致します。

記

■養成コース名： JAAF公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ3）

■受講条件： 受講年度の4月1日現在満27歳以上で、日本陸上競技連盟登録者であること。
都道府県陸協または本連盟が推薦し、指導者養成委員会が認める者。

※各都道府県1名まで

原則、JAAF公認ジュニアコーチ有資格者であること。

■受講予定者数： 60名程度

■受講料： 共通科目 20,000円 専門科目 15,000円 ※税別

■登録料（4年間）： 14,000円（初回登録時のみ新規登録料3,000円が別途必要）

■実施時期： 2020年12月24日（木）～27日（日） ※予定

味の素ナショナルトレーニングセンター ※予定

*その他、日本スポーツ協会が実施する共通科目集合講習会への参加及びeラーニングによる事前学習（知識確認テスト）および事後課題の提出などが課せられます。

*日本スポーツ協会免除適応コース承認校（大学・専門学校）卒業者で共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの免除証明書を取得済みもしくは別資格にて共通科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの修了証を取得済みの場合、共通科目講習が免除されます。

*共通科目の集合講習会については、日本スポーツ協会が提示する日程表にてご確認ください。

※受講有効期間は、原則2020年度までです。期間内に受講を完了することで資格の取得が可能です。

■推薦締切： **2020年1月31日（金）**

*推薦者には、日本陸連から直接、受講申込関係書類をお送りします。

＜本件に関するお問合せ＞

日本陸上競技連盟事務局 担当：田中、磯貝

E-mail:coach@jaaf.or.jp

TEL：050-1746-8410

以上

J A A F 公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3） 専門科目講習会実施要領

■ J A A F 公認コーチ（公認陸上競技コーチ 3）専門科目養成講習会カリキュラム

資 格 の 名 称	J A A F 公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3）
養成目的・役割	都道府県レベルの競技者の指導、育成、強化にあたる指導者を養成する。 都道府県で選手団の監督・コーチを担う者、指導者育成の中心的な役割を担う者を養成する。
受 講 料	共通科目 20,000 円 専門科目 15,000 円 ※税別
登録料（4 年間）	14,000 円（初回登録時のみ、新規登録料 3,000 円）
更新のための研修	資格登録有効期限 4 年間のうちに、最低 1 回は日本陸上競技連盟（都道府県陸上競技協会が実施する研修会を含む）が定める研修または日本スポーツ協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。
担 当 委 員 会	日本陸上競技連盟 指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1. 種目の特性に応じた 基礎理論	①	陸上競技の各種理論	11. 5h	14 h	25. 5 h
	②	陸上競技とドーピング防止	1. 5h	0h	1. 5 h
	③	陸上競技の食事と栄養	1. 5h	0h	1. 5 h
	④	陸上競技のルール	1. 5 h	0h	1. 5 h
	小 計		16 h	14 h	30 h
2. 種目別実技指導法	①	陸上競技の種目別指導・演習	24 h	6 h	30 h
	小 計		24 h	6 h	30 h
合 計			40 h	20 h	60 h

※日本スポーツ協会公認指導者制度の変更・更新により、上記に変更が生じる場合があります。

2020年度JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会 (日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ1) 開催要項

- 目 的 地域スポーツクラブ(スポーツ少年団を含む)、小・中・高校生の部活動において発育発達段階を考慮した、
競技者育成のための基本指導ができる指導者を養成する。
- 主 催 公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本スポーツ協会
- 主 管 公益財団法人日本陸上競技連盟指導者養成委員会、開催陸上競技協会

1. カリキュラム

- (1) 共通科目 (スポーツリーダー養成講習)
- (2) 専門科目 40h(集合講習30h/その他10h) *専門科目の時間数は下記参照

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
1. 種目の特性に応じた 基礎理論	①	発育発達段階を踏まえた競技者の育成	2 h	1 h	3 h
	②	指導における各種理論	5 h	3 h	8 h
	③	陸上競技の主なルール	1 h	1 h	2 h
	④	部活動の運営と地域クラブ	1 h	2 h	3 h
2. 実技指導法	①	陸上競技の種目別指導	19 h	1 h	20 h
3. 実技指導演習	①	陸上競技の種目別指導の方法	2 h	2 h	4 h
合 計			30 h	10 h	40 h

※日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者制度の変更・更新により、上記に変更が生じる場合があります。

2. 開催地/日程/会場

開催地/日程/会場については、【開催日程一覧】を参照。 ※開催地決定後、一覧を作成
*必ず注意事項まで確認すること。

3. 受講条件

- (1) 受講年度の4月1日現在、**満20歳以上**で、現在陸上競技の指導に携っている者。もしくは将来陸上競技の指導に携
わる希望がある者(学生など)で、日本陸上競技連盟指導者養成委員会が認める者。
- (2) 指定のカリキュラム(集合講習30h)について、**自身で選択した1会場にて全日程を受講すること。**
*交通事情を除き、30分以上の遅刻・早退・欠席が1日でもある場合は全日程の再受講となる。
*再受講については、全日程を別会場にて振替えての受講をすること。
*体調不良、一身上の都合など個人的な事情については考慮しない。

4. 申込方法

申込みについては別紙の「JAAF公認ジュニアコーチ講習会受講申込みについて」の申込手順を確認すること。

- (1) 申込期間 各会場開催初日の約1ヶ月前まで
- (2) 申込方法 日本陸上競技連盟ホームページにて案内(イー・モシコムより申込み)

5. 受講料

共通科目・専門科目受講：25,000円(税別)

専門科目のみ受講：15,000円(税別)

免除適用コース承認校在校生：10,000円(税別)

- *決裁手数料は受講者負担とする。
- *イー・モシコムより受講申込み後、受講料の納入を行なう。
- *一旦納入された受講料は、理由の如何を問わず返金はしない。
- *別途、指定の講習用テキストの事前購入が必要となる。

6. 検定・審査

講習に基づく検定・審査は、共通科目と専門科目の区分別に実施する。

- (1) 共通科目における検定試験は、日本スポーツ協会の判定・審査(6割以上)とする。
- (2) 専門科目における検定試験は、日本陸上競技連盟指導者養成委員会により、技能検定を主体に、筆記試験等を加えた総合判断とし審査(6割以上)する。
- (3) 共通科目・専門科目のいずれも検定に合格した者を、「JAAF 公認ジュニアコーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 1）養成講習会修了者」として認める。

7. 資格認定

共通科目・専門科目の検定に合格(講習免除者を除く)し、日本スポーツ協会指導者登録(登録の申請・登録料の納入)を完了した者は、次年度の10月1日付または次々年度4月1日付で、日本スポーツ協会より「コーチ 1」として認定され、「認定証」および「登録証」が交付される。

※日本スポーツ協会指導者登録を完了しないと、指導者資格の認定とならない。

8. 登録・更新

(1) 登録について

指導者資格登録には、以下の登録料が必要となる。また更新には更新研修の受講が必要となる。

◇登録料：14,000円

◇初期登録料：3,000円

*合格後、日本スポーツ協会へ納入する。(登録料は上記金額が4年分となる)

(2) 更新について

指導者としての登録有効期限は4年間となる。本資格の更新には、資格有効期限の6ヶ月前までに日本スポーツ協会(都道府県体育協会実施の研修も含む)または日本陸上競技連盟の定める更新研修を受けなければならない。

◇更新料：14,000円(日本スポーツ協会10,000円+日本陸上競技連盟4,000円)

*資格登録後は4年ごとに更新料が必要となる。更新料は日本スポーツ協会へ納入する。

9. 受講有効期限

受講者は 2020 年度内に講習会を受講しなければならない。2020 年度内における申込後の会場変更は可能とする。なお、期限内に修了しない場合は、その時点で受講者としての権利をすべて喪失する。

10. 受講取消

受講者としてふさわしくない行為があったと認められた場合、日本陸上競技連盟指導者養成委員会にて審査し、受講を取消す場合がある。

11. その他

本講習会受講に際し取得した個人情報は、日本スポーツ協会及び各都道府県体育協会、日本陸上競技連盟及び各都道府県陸上競技協会が、受講管理に関する連絡(資料の送付等)と、関係事業を実施する際に利用し、これ以外の目的に個人情報を使用する際は、その旨を明示し了解を得るものとする。

12. 本件に関する問い合わせ

＜ジュニアコーチ連絡担当窓口＞

TEL：042-319-2263（平日 10:00～17:00 *土日祝日休み）

E-mail：fukyu-info@jaaf.or.jp

J A A F U 1 3（小学生）指導者講習会 〇〇会場 開催要項

小学校の文部科学省指導要領のなかで陸上競技（陸上運動）が位置づけられているが、陸上競技は種目も多く、またそれぞれに技術が異なり指導が難しい。小学校の場合専科制が進んでいないので、必ずしも担当教諭が体育の専門でなく、指導方法について悩んでいる例が多く見られる。小学校で取り組み種目について基本的な指導方法を伝えることで、授業内容の質の向上に寄与することを目的とする。

- 1 主 催： 公益財団法人日本陸上競技連盟
- 2 主 管： 〇〇〇〇
- 3 開催目的： 陸上競技における小学校教員および指導者の指導資質向上
- 4 開催日時： 2020年〇〇月〇〇日（〇）
- 5 開催場所： 〇〇〇〇小学校 ※理論講習および実技の実施場所が必要
- 6 参加対象： 小学校教員、および小学生を対象とした指導者
- 7 開催種目： 走運動（走り・ハードル）・跳運動・投運動
- 8 内 容： コーチングの基本的な理論と陸上競技の実技および指導法の実践
- 9 日 程：

9：30～10：00	受付、開講式
10：00～10：45	理論講習：コーチングスキル
11：00～11：45	ワークショップ 走跳投のテクニカルモデルの構築
11：45～13：00	昼食・休憩
13：00～13：30	実技：投運動（ジャベボール投げ）
13：40～14：10	実技：走運動（走り・ハードル）
14：20～14：50	実技：跳運動（走り幅跳び or 走り高跳び）
15：00～15：20	講評、閉講式
- 10 指導講師： 日本陸上競技連盟 派遣講師 3名
- 11 申込方法： 〇〇〇〇
- 12 申込締切： 〇〇〇〇
- 13 そ の 他：
 - （1）定員 20～50 名 ※20 名以上といたします。
参加希望者が定員数を超える場合は申込みの先着順とさせていただきます。
 - （2）実技のできる服装・シューズをご準備ください。
 - （3）体育館シューズをご持参ください。
 - （4）昼食は各自にてご準備ください。
 - （5）参加費は無料です。
 - （6）講師の派遣費用は日本陸上競技連盟が負担します。

本講習会は傷害保険に加入しております。（熱中症にも対応）保険内容については担当者へお問合せください。※参加中に負傷した場合に限ります。

【役割と負担について】	
◎ 日本陸連の役割	◎ 開催地の役割・負担
・講師派遣 ・講師にかかわる謝金・交通費・日当は日本陸連が負担 ・講習で使用する備品（テキストや実技用教材）の手配	・会場の手配と会場使用料の負担 ・受講生の募集 ・地元スタッフの調整、手配、経費の負担（必要に応じて） ・講習会当日の昼食手配（日本陸連派遣役員・講師を含む）

【お問合せ】 日本陸上競技連盟事務局 田中・古田・伊東・磯貝

TEL：050-1746-8410 E-mail：coach@jaaf.or.jp

第 26 回 JAAF コーチングクリニック 開催要項

例年、指導者の皆様から大変好評をいただいております「JAAF コーチングクリニック」を下記の要項で開催致します。

今回のコーチングクリニックでは午前中に独立行政法人国立病院機構西別府病院の医師である『松田 貴雄氏』に女性アスリートの三主徴を含む講義を行っていただきます。

午後には、一般社団法人日本スポーツマンシップ協会 代表理事・千葉商科大学サービス創造学部 専任講師の『中村聡宏氏』にスポーツマンシップについての講義を行っていただいた後、コーディネーショントレーナー (Ph. D. / ライプツィヒ大学) の『泉原嘉郎氏』にコーディネーショントレーニングの実技を含む講義を行っていただきます。

- 主 催 : 公益財団法人日本陸上競技連盟
共 催 : アシックスジャパン株式会社
日 程 : 2019年12月28日 (土) 9:50~16:00 (9:30受付 昼休憩1時間)
会 場 : 味の素ナショナルトレーニングセンター (NTC)
東京都北区西が丘 3-15-1
- 内 容 : (案) 9:30 受付開始
9:50 開講式
10:00~11:30 「女性アスリートの三主徴を理解してパフォーマンス向上につなげる。」
松田 貴雄 氏
11:30~12:30 昼休憩 (1H)
12:30~14:00 「真のスポーツマンをめざして-スポーツマンシップを理解し実践する
意義を考える-」 中村 聡宏 氏
14:15~15:45 「潜在力を高めるアスリートのためのコーディネーショントレーニング」
※室内での実技含む 泉原 嘉郎 氏
15:45~16:00 閉講式
- 参 加 者 : JAAF公認ジュニアコーチ (日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 1・2)
JAAF公認コーチ (日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3・4)
中学・高校・大学・実業団の指導者
陸上競技に興味のある方
- 定 員 : 120名
- 参 加 費 : JAAF公認スポーツ指導者有資格者 5,000円
それ以外の方 7,000円
※ 参加費用は理由の如何に関わらず返却はできません。
※ 宿泊幹旋はしておりませんので、各自でお願いいたします。
※ 昼食は各自ご持参ください。
- 申込方法 : e-moshicomよりお申込みください。
(<https://moshicom.com/34577/>)
先着120名で、定員に達し次第締め切ります。
※お申込みはインターネットのみとなりますので予めご了承ください。
- 申込期日 : 2019年10月25日 (金) ~ 2019年12月23日 (月) 23:59 まで
- そ の 他 : ・当日は運動の出来る服装・シューズでのご参加をお願いいたします。
・内容及び講師は、諸事情により変更になる可能性があります。
・ビデオでの撮影はご遠慮頂く場合がありますので、予めご了承ください。
・講習会は公認スポーツ指導者の「更新研修」として位置付けておりますので、指導者資格をお持ちの方は積極的に受講して下さい。
- 問 合 せ : 日本陸上競技連盟 「コーチングクリニック係」
担当 : 伊東・磯貝
TEL : 050-1746-8410 (平日 : 10:00-18:00)
MAIL : coach@jaaf.or.jp

第26回コーチングクリニック



各都道府県における更新研修（義務研修）の実施について

公認スポーツ指導者資格の有効期間は資格登録後 4 年間です。資格を更新するためには、資格有効期限の 6 か月前までに、日本スポーツ協会あるいは当該中央競技団体等の定める研修会（更新研修）を最低 1 回受けることが義務づけられています。各都道府県において、年に最低 1 回、3 時間以上の更新研修の実施をお願い致します。

- | | |
|---------------|--|
| 1. 開催頻度 | 最低年 1 回 |
| 2. 開催場所 | 各都道府県陸協にて実施 |
| 3. 更新研修実施の条件 | 集合研修 3 時間以上 |
| 4. 更新研修実施のルール | <ul style="list-style-type: none">・スポーツに関する講演または研究発表、実技、指導実習、研究協議などによって構成されていること・時間数が 3 時間以上の集合講習 であること・各陸協または日本陸上競技連盟が認める講師によって講習が行われること |

※更新研修のみを目的とした講習を実施する場合、費用及び人的負担が大きいため、各陸協で既に行っている取り組み（下記等）を更新研修として位置づけて実施して頂きたい。

※指導者に向けた講習会形式に限らず、大会やイベントの実施運営等の活動も上記ルールのもと、認められる。

- ①各陸協主催の練習会
- ②各陸協主催の強化、練習合宿
- ③大会と連動した講習会の実施
- ④各陸協主催の各種イベント（かけっこ教室、講習会、研修会等）
- ⑤日本陸上競技連盟主催の各種イベント
(U10・U13・U16 各クリニック・指導者講習会・コーチングクリニック等)

○更新研修実施方法・流れ ※日本陸連オフィシャルホームページ「指導者養成委員会」内掲載

<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/fukyu/>

1. 開催日の 1 か月前までに、入力フォームにて日本陸連に申請
<https://forms.gle/u2twqRWdG7DVBzZ39>
2. 日本陸連指導者養成担当者が日本スポーツ協会に申請
3. 更新研修終了後、受講者名簿を日本陸連担当宛てにメールにて報告 coach@jaaf.or.jp
※報告の時期 ： 講習会終了後、2 週間以内
4. 日本陸上競技連盟担当者が、日本スポーツ協会に報告



- [趣 旨] スポーツの基本となる「走」「跳」「投」の運動を小学生に楽しく体験しながら学んでもらうと同時に、小学生陸上競技指導者に正しく学んでもらうために、日本陸上競技連盟が講師を派遣して実施する。
- [主 催] 日本陸上競技連盟
- [主 管] 〇〇陸上競技協会
- [協 賛] アシックスジャパン株式会社、デンカ株式会社
- [講 師] 日本陸上競技連盟派遣講師 *4名+栄養1名
- [日 程] 20〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 受付開始: 午前〇時〇〇分 プログラム実施: 9時00分~15時00分
- [会 場] 〇〇市〇〇小学校(小学校のグラウンド: 実技及び教室: 理論講習)
- [参加者] 県内小学生(3・4年生)およびその指導者・保護者を対象とする
- [定 員] 小学生60名 ※指導者(10名以上)
- [参加者募集方法] 〇〇陸上競技協会(教育委員会並びに学校〇〇〇〇〇〇)
- [内 容] 理論講習: 発育発達・栄養 実技: 基本の運動・動きづくり(種目別基本の動きを含む)

予定時間(予定)		実施内容(予定)
09:00~09:15	開講式	挨拶 日本陸連 氏名:〇〇〇〇 〇〇陸協 氏名:〇〇〇〇 講師紹介 日本陸連 氏名:〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇 諸連絡 〇〇陸協 氏名:〇〇〇〇
09:15~09:50	理論講習	発育発達 講師: 〇〇〇〇
10:00~11:10	実技 走運動 (短距離)	ウォーミングアップおよび走運動(短距離) 50m 走 計測 (最後に質疑応答) 講師: 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
11:20~12:20	実技 跳運動 (走り幅跳び 走り高跳び)	跳運動および選択種目、測定 (最後に質疑応答) ※走り幅跳び・走り高跳び どちらか1種目選択 講師: 〇〇〇〇
12:20~13:35	昼食・講習	昼食(30分)および栄養講習(45分) 講師: 〇〇〇〇
13:40~14:40	実技 投運動 (ジャベボール)	投運動(ジャベボール)、測定 講師: 〇〇〇〇 (最後に質疑応答)
14:45~15:00	閉講式	日本陸連 氏名: 〇〇〇〇 (参加者からの質問、講師からの統括、参加者からの御礼の言葉等) ※集合写真撮影(toto バナー、Denka バナーと共に)

* 理論講習: 小学生、指導者・保護者とも参加。 実技: 小学生が受講し、指導者・保護者は見学。

* 雨天時は会場(学校や体育館や室内)の状況により講師が実施内容を判断する。

* 本講習会は熱中症にも対応した傷害保険に加入しております。保険内容については担当者へお問合せ下さい。

※講習会参加中に負傷した場合に限る。

<都道府県陸協様>

* 指導者の研修として本講習会をご活用ください。運営補助を行う指導者以外で10名以上の指導者の参加・受講をお願いします

* 本講習会開催後、年度内に陸協主催で同様の講習会を実施してください。

[お問合せ] 日本陸上競技連盟事務局 担当: 古田・磯貝
TEL: 050-1746-8410 E-mail: a-clinic@jaaf.or.jp

- [趣 旨] スポーツの基本となる「走」「跳」「投」の運動を小学生に楽しく体験しながら学んでもらうと同時に、小学生陸上競技指導者に正しく学んでもらうために、日本陸上競技連盟が講師を派遣して実施する。
- [主 催] 日本陸上競技連盟
- [主 管] 〇〇陸上競技協会
- [協 賛] アシックスジャパン株式会社、デンカ株式会社
- [講 師] 日本陸上競技連盟派遣講師 *4名+栄養1名
- [日 程] 20〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 受付開始: 午前〇時〇〇分 プログラム実施: 9時00分~15時30分
- [会 場] 〇〇市〇〇小学校(小学校のグラウンド: 実技及び教室: 理論講習)
- [参加者] 県内小学生(5・6年生) およびその指導者・保護者を対象とする
- [定 員] 小学生60名 ※指導者(10名以上)
- [参加者募集方法] 〇〇陸上競技協会(教育委員会並びに学校〇〇〇〇〇〇)
- [内 容] 理論講習: 発育発達・栄養 実技: 基本の運動・動きづくり(種目別基本の動きを含む)



予定時間(予定)		実施内容(予定)
09:00~09:15	開講式	挨拶 日本陸連 氏名:〇〇〇〇、〇〇陸協 氏名:〇〇〇〇 講師紹介 日本陸連 氏名:〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇 諸連絡 〇〇陸連 氏名:〇〇〇〇
09:15~09:50	理論講習	発育発達 講師: 〇〇〇〇
10:00~11:20	実技 走運動 (短距離)	ウォーミングアップおよび走運動(短距離) 50m 走 計測 (最後に質疑応答) 講師: 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
11:30~12:40	実技 跳運動 (走り幅跳び 走り高跳び)	跳運動および選択種目、測定 (最後に質疑応答) ※走り幅跳び・走り高跳び どちらか1種目選択 講師: 〇〇〇〇
12:40~13:55	昼食・講習	昼食(30分)および栄養講習(45分) 講師: 〇〇〇〇
14:00~15:10	実技 投運動 (ジャベボール)	投運動(ジャベボール)、測定 講師: 〇〇〇〇 (最後に質疑応答)
15:15~15:30	閉講式	日本陸連 氏名: 〇〇〇〇 (参加者からの質問、講師からの統括、参加者からの御礼の言葉等) ※集合写真撮影(toto バナー、Denka バナーと共に)

- *理論講習: 小学生、指導者・保護者とも参加。 実技: 小学生が受講し、指導者・保護者は見学。
- *雨天時は会場(学校や体育館や室内)の状況により講師が実施内容を判断する。
- *本講習会は熱中症にも対応した傷害保険に加入しております。保険内容については担当者へお問合せ下さい。
- ※講習会参加中に負傷した場合に限る。

<都道府県陸協様>

- *指導者の研修として本講習会を活用してください。運営補助を行う指導者以外で10名以上の指導者の参加・受講をお願いします。また、本講習会開催後、年度内に陸協主催で同様の講習会を実施してください。

[お問合せ] 日本陸上競技連盟事務局 担当: 古田・磯貝
TEL: 050-1746-8410 E-mail: a-clinic@iaaf.or.jp

2020年度JAAF “U16みんな集まれ!!陸上の基本運動”

〇〇会場 開催要項

資料 8

[趣 旨] 陸上競技の普及を目的として、走跳投の基本的な運動を中学生が正しく学び、楽しさを体験すると同時に、中学生の指導について指導者に正しく学んでもらうために、日本陸上競技連盟が講師を派遣して実施する



[主 催] 日本陸上競技連盟

[主 管] 〇〇陸上競技協会

[協 賛] アシックスジャパン株式会社、デンカ株式会社

[講 師] 日本陸上競技連盟派遣講師 *4 名

[日 程] 20〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 受付開始：午前〇時〇〇分 プログラム実施：9 時 00 分～15 時 20 分

[会 場] 〇〇市〇〇中学校 (小学校のグラウンド：実技及び教室：理論講習) または陸上競技場

[参加者] 中学 1 年生、およびその指導者・保護者を対象とする

[定 員] 中学生 60 名 ※指導者 (10 名以上)

[参加者募集方法] 〇〇陸上競技協会 (教育委員会並びに学校〇〇〇〇〇〇)

[内 容] 理論講習：発育発達 実技：基本の運動・動きづくり (種目別基本の動きを含む)

予定時間(予定)		実施内容 (予定)
09:00～09:15	開講式	挨拶 日本陸連 氏名:〇〇〇〇、 〇〇陸協 氏名:〇〇〇〇 講師紹介 日本陸連 氏名:〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇 諸連絡 〇〇陸協 氏名:〇〇〇〇
09:15～09:50	理論講習	発育発達 講師：〇〇〇〇
10:00～11:30	実技 走運動 (短距離)	ウォーミングアップ、走運動およびハードルの基本運動 100m 走 計測 (最後に質疑応答) 講師：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
11:40～12:50	実技 跳運動 (走幅跳・走高跳)	跳運動および選択種目、測定 (最後に質疑応答) ※走り幅跳び・走り高跳び どちらか 1 種目選択 講師：〇〇〇〇
12:50～13:50	昼食	昼食 (60 分) ※時間調整含め
13:50～15:00	実技 投運動 (ジャベボール)	投運動 (ジャベボール)、測定 講師：〇〇〇〇 (最後に質疑応答)
15:05～15:20		日本陸連 氏名：〇〇〇〇 (参加者からの質問、講師からの統括、参加者からの御礼の言葉等) ※集合写真撮影 (toto バナー、Denka バナーと共に)

* 理論講習：中学生、指導者・保護者とも参加。 実技：中学生が受講し、指導者・保護者は見学。

* 雨天時は会場 (学校や体育館や室内) の状況により講師が実施内容を判断する。

* 本講習会は熱中症にも対応した傷害保険に加入しております。保険内容については担当者へお問合せ下さい。

※講習会参加中に負傷した場合に限る。

<都道府県陸協様>

* 指導者の研修として本講習会をご活用ください。運営補助を行う指導者以外で 10 名以上の指導者の参加・受講をお願いします

* 本講習会開催後、年度内に陸協主催で同様の講習会を実施してください。

[お問合せ] 日本陸上競技連盟事務局 担当：古田・磯貝
TEL：050-1746-8410 E-mail：a-clinic@jaaf.or.jp

2019年度 日本陸上競技連盟U16ジュニアブロック研修合宿 開催一覧

N0	ブロック	都道府県	合宿開始日	合宿終了日	開催地	会場
1	北海道	北海道	2020年1月8日(水)	2020年1月9日(木)	札幌	北海きたえーる
2	東北	青森・岩手・宮城 秋田・山形・福島	2019年12月7日(土)	2019年12月8日(日)	宮城	ひとめぼれスタジアム宮城
3	関東	茨城・栃木・群馬・埼玉 千葉・東京・神奈川・山梨	2019年12月26日(木)	2019年12月28日(土)	群馬	正田醤油スタジアム
4	北信越	新潟・長野・富山 石川・福井	2020年1月11日(土)	2020年1月13日(月)	新潟	デンカビッグスワンスタジアム
5	東海	静岡・愛知・三重・岐阜	2020年1月11日(土)	2020年1月12日(日)	三重	三重県伊勢市 三重交通Gスポーツの杜伊勢陸上競技場
6	近畿	滋賀・京都・大阪 兵庫・奈良・和歌山	2020年1月11日(土)	2020年1月13日(月)	和歌山	紀三井寺運動公園陸上競技場
7	中国	鳥取・島根・岡山 広島・山口	2019年12月26日(木)	2019年12月28日(土)	広島	コカコーラウエスト広島スタジアム
8	四国	香川・徳島・愛媛・高知	2019年12月21日(土)	2019年12月22日(日)	愛媛	ニンジニアスタジアム (愛媛県総合運動公園陸上競技場)
9	九州	福岡・佐賀・長崎・熊本 大分・宮崎・鹿児島・沖縄	2019年12月26日(木)	2019年12月28日(土)	熊本	えがお健康スタジアム

“日清食品カップ” 第36回全国小学生陸上競技交流大会 開催要項(案)

開催趣旨

近年、全国的に児童の体位向上は著しいものがありますが、それと平行して基礎体力の向上が望まれているところであります。一方、多くのスポーツが低年齢者層に普及しつつあり、スポーツ関係者としては誠に喜ばしいかぎりであります。

そうしたなかで、各スポーツの指導者からは、小学生の基礎体力の向上とともに、あらゆるスポーツの基本である「走る」「跳ぶ」「投げる」ことの正しい指導が強く望まれております。

そこで日本陸上競技連盟では、小学校高学年の児童を対象に陸上競技の基本技術の習得を目的としての競技会を開催いたします。また、大会を通じてグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養、陸上競技を通しての基礎体力の養成を図ります。本交流大会が、小学生のみなさんが生涯を通してスポーツに親しんでもらえるきっかけとなるよう願って開催いたします。

上記の趣旨を十分に配慮しながら、以下の開催要項に従い第36回大会を開催いたします。

1. 開催要項

- [目 的] 研修を通してグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養を図る
あらゆるスポーツの基本とされる陸上競技技能の習得を図る
わが国スポーツ界の底辺拡大を図り、小学生の健全なる心身育成の一端とする
小学生を指導する陸上競技指導者の研鑽を図る
- [主 催] 公益財団法人日本陸上競技連盟
- [後 援] スポーツ庁 横浜市 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社 ※以上全て予定
- [主 管] 一般財団法人神奈川陸上競技協会
- [協 賛] 日清食品ホールディングス株式会社
- [協 力] アシックスジャパン株式会社 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社 ※以上全て予定
- [期 日] 2020年9月19日(土)・20日(日)・21日(月・祝)
- [会 場] 神奈川県横浜市・日産スタジアム
- [参 加 者] 小学校5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた
代表選手18名と指導者4名とする

2. 選手・指導者日程

9月19日(土)	9月20日(日)	9月21日(月・祝)
受付	開会式	フレンドシップパーティー(内容未定)
フリー練習 カップヌードルミュージアム 横浜見学	競技会	指導者研修会(内容未定)
監督会議・指導者研修会(内容未定)		終了・解散

3. 競技会要項

(1) 種目および参加人員 *各都道府県は、次の範囲で選手団を編成する。

実施種目		人数	種目数
5 年 1 0 0 m	男/女	2	2
6 年 1 0 0 m	男/女	2	2
コンバインド A : 8 0 m ハードル・走高跳	男/女	4	2
コンバインド B : 走幅跳・ジャベリックボール投	男/女	4	2
男女混合 4 x 1 0 0 m リレー (ミックスリレー)	混合	6 (男女 3 ずつ)	1
選手合計		1 8	9
監督及び指導者		4	
合 計		2 2	

※支援コーチ (自費参加) : 4 人以内

(2) 全国大会への参加資格ならびに条件

①選手は小学校 5・6 年の年齢に該当する児童であること。

小学 5 年生種目 : 2 0 0 9 年 4 月 2 日～2 0 1 0 年 4 月 1 日の間に生まれた者

小学 6 年生種目 : 2 0 0 8 年 4 月 2 日～2 0 0 9 年 4 月 1 日の間に生まれた者

②監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。

◇日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3・コーチ 4 (J A A F 公認コーチ)

又は、日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 1・コーチ 2 (J A A F 公認ジュニアコーチ) の有資格者

◇監督・指導者のうち必ず 1 名は女性の有資格者

◇申込時、必ず日本スポーツ協会登録番号 (7 桁の数字) の記載が必要

③選手、監督・指導者ともに、本要項内の全日程に参加すること。

④選手の選考は本要項の段階を経ること。

⑤リレーチームの編成は、各都道府県での最終選考会に参加した時点でのリレーチームであり、大会本部の承認なしに、メンバー変更等は認められない。また、全国大会は 6 名でのエントリーが可能であり、できるだけ最終選考会には 6 名でのエントリーが望ましい。選考後の追加エントリーは認められない。(編成にあたっては、男女 3 名ずつとする)

⑥リレーメンバーのうち、1 名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。

⑦同一人が 2 種目を兼ねて出場することはできない。(コンバインド A・B、リレーも 1 種目とする。)

⑧居住都道府県と異なる都道府県でのチーム所属は可能とする。ただし、1 人 1 所属とし、複数チームへの所属は認めない。

(3) 選考会

①各都道府県陸上競技協会による選考会を経た後にリレーチームおよび単独種目・コンバインド種目の出場選手を選考する。

②選考会への出場については、1 人 1 都道府県とする。複数都道府県での出場は認めない。

(4) 競技規則

2020年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

4. 研修・交流会

47都道府県から代表として参加する小学生は、日程表に定められた研修会・交流会に参加する。

5. 申込方法

各都道府県陸上競技協会による選考会終了後、1週間以内に下記の手順で大会事務局あてに申込みをする。

(※選考会の開催日が申込締切間近の場合、終了後ただちに申込みを行うこと。)

最終の申込締切については下記のとおりとし、原則として、申込締切を過ぎた申込みは認めない。

(手順1) Eメールにて参加申込書データの提出

「指導者・選手申込書」の必要事項を明記し、2020年8月15日(土)までにデータを下記の
エントリー・輸送事務局へ必ずEメールの添付ファイルで提出する。

(手順2) Eメールにて「大会参加同意書」、「健康診断書」の提出

2020年8月15日(土)までに「大会参加同意書」、「健康診断書」のデータを下記のエントリー・
輸送事務局へEメールの添付ファイルで提出する。

※原本は、各チームで大会終了時まで保管すること。

※大会参加同意書内<大会規約>2に該当する場合は、「健康診断書」の提出が必要。

申込先 Eメールアドレス: nissincup@jaaf.or.jp

※送信の際、件名に「〇〇都道府県・第36回小学生陸上申込書」と明記すること。

6. 宿泊・交通機関

選手団は、主催者が定めた交通機関で9月19日(土)の指定された時間までに集合し、解散まで主催者が定めた宿舎に宿泊する。

7. その他注意事項

①競技方法、競技者注意事項については別途お知らせします。

②競技場内での写真・ビデオ等の撮影について

本大会主催者より各選手団に50枚のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場内で撮影する場合は、リボンが後ろから確認できる位置(左肩)につけること。リボンが確認できない場合、警備員もしくは大会関係者よりお声掛けする場合がある。

③写真の二次使用について

本大会主催者が認めた報道機関や大会の協賛・後援の各社が撮影した写真等を、新聞・雑誌・大会報告・ホームページ等での公開、また、次回大会のポスター・パンフレット等に使用することがある。

④主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱う。

尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。

以上

2019 年 12 月 22 日

各加盟団体 ご担当者様

公益財団法人日本陸上競技連盟
指導者養成委員長 山本 浩

2020 年度日本陸連指導者養成委員会事業 開催可否のご検討のお願い

2020 年度事業実施にあたり、下記についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

1. JAAF 公認コーチ受講推薦者の決定（各都道府県 1 名まで）
2. JAAF 公認ジュニアコーチ開催の検討
3. U13 指導者講習会開催の検討
4. U10、U13、U16 ” みんな集まれ！陸上運動 “（仮称）開催の検討
5. 更新研修の実施

【提出について】

上記 1～4 の事業につきまして **2020 年 1 月 31 日（金）** までに、下記入力フォームにて
必ずご回答ください。全都道府県とも回答をお願い致します。

- ・各事業の開催の可否
- ・各事業の開催希望日（第 1 希望～第 3 希望）
※2020 年度に関しては、各事業とも 10 月以降の開催にて検討をお願い致します
上記以外の日程につきましては提出期限内に別途ご相談ください
※開催希望の事業を全て実施できない場合があります。予めご了承ください。
- ・各事業の担当者様の決定

■JAAF 公認コーチ

▼入力フォーム

<https://forms.gle/dXk31WBqZ3RhZAV27>



■JAAF 公認ジュニアコーチ、

▼入力フォーム

U13 指導者講習会、
U10、U13、U16 ” みんな集まれ！
陸上運動 “（仮称）

<https://forms.gle/tykcrsk4ynC2c8PE6>



※会場や日程が確定していない場合は未定とご記入ください。

Google フォームにログイン出来ない場合は下記メールアドレスにご連絡ください。

本件に関するお問い合わせ

日本陸上競技連盟事務局 田中、伊東、古田、磯貝

Mail:coach@jaaf.or.jp Tel:050-1746-8410

JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会

資料12

都道府県別開催状況

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	受講人数	129	248	320	631	835	623	513	610 (*1/6時点)
NO	会場数	4	10	12	14	19	15	14	17
1	北海道	13	11	15	14		39		29 (27 : 2)
2	青森							34 (32 : 2)	22 (16 : 6)
3	岩手		21				22		14 (8 : 6)
4	宮城				26		14		27(*2/8開催 申込数)
5	秋田					29			
6	山形				39	22			23 (19 : 4)
7	福島	30	36	31	14	16		17 (15 : 2)	
8	茨城								32(*1/11開催 申込数)
9	栃木								
10	群馬								
11	埼玉		30	17	28	50	29	23 (21 : 2)	
12	千葉								
13	東京 1	41		64	102	85	102	102 (73 : 29)	96 (75 : 21)
13	東京 2					92	79	85 (76 : 9)	60 (46 : 14)
14	神奈川				46				
15	山梨		27				30		
16	新潟			26			19	15 (10 : 5)	18 (15 : 3)
17	長野								47 (39 : 8)
18	富山				39				23 (17 : 6)
19	石川					41			
20	福井		28				30		
21	静岡			16		41			
22	愛知								
23	三重			46	100		49		58 (48 : 10)
24	岐阜								
25	滋賀					26		43 (33 : 10)	
26	京都								
27	大阪			21	89	89	92	77 (57 : 20)	72 (51 : 21)
28	兵庫			14		34		27 (20 : 7)	
29	奈良								
30	和歌山		12					10 (7 : 3)	
31	鳥取				22				
32	島根								
33	岡山								
34	広島	45	41	24	18	33	18	19 (14 : 5)	20(*1/11開催 申込数)
35	山口					40	45	29 (22 : 7)	29(*1/11開催 申込数)
36	香川				47	33			
37	徳島						22	5 (4 : 1)	
38	愛媛		27	20					
39	高知								0(*申込数不足(12)のため中止)
40	福岡					63		27 (24 : 3)	
41	佐賀					38			
42	長崎					44			
43	熊本								
44	大分					32			
45	宮崎			26			33		
46	鹿児島				47				40 (32 : 8)
47	沖縄		15			27			

人数 (男 : 女)

**指導者講習会
都道府県別開催状況**

資料12

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
NO	会場	4	5	4	5	5	7	8	7
1	北海道								
2	青森		11/2						
3	岩手								
4	宮城								
5	秋田								
6	山形						1/27		
7	福島								
8	茨城						11/19		
9	栃木								
10	群馬				1/17				
11	埼玉								
12	千葉		10/17						
13	東京都	11/3	11/4	2/1			1/14	8/27	U13(8/28) U16(2/9)
14	神奈川県								
15	山梨			2/21	2/20			8/7	U16(2/15)
16	新潟						11/25	6/1	U13(8/23)
17	長野			11/29			12/10	12/1	
18	富山								
19	石川								
20	福井								
21	静岡								
22	愛知					1/28			
23	三重								
24	岐阜					2/11			
25	滋賀								
26	京都								
27	大阪								
28	兵庫							3/3	
29	奈良								
30	和歌山								
31	鳥取	3/2							
32	島根					11/26			
33	岡山								
34	広島						6/6	9/8	
35	山口								
36	香川			2/8				3/17	
37	徳島					12/10			
38	愛媛		11/9						
39	高知					11/20		10/21	
40	福岡	1/14			1/31				
41	佐賀				3/13				U16(12/1)
42	長崎								U16(11/30)
43	熊本		2/22						
44	大分								
45	宮崎				11/23				
46	鹿児島	2/10					12/2		
47	沖縄								U13(8/31)

カテゴリー(開催日)

アスリート発掘育成プロジェクト・クリニック事業

資料12

都道府県別開催状況

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
NO	会 場 数	30	18	18	16	19	20	18	18
1	北 海 道	U12・U15・U18	U13・U16		U13・U16	U16	U13	U16(92名)	U13(28名)
2	青 森		U16		U13	U13			
3	岩 手			U16					
4	宮 城	U18			U16		U13	U13 (29名)	
5	秋 田	U12				U16			
6	山 形		U13			U16	U13	U16	U16 (43名)
7	福 島	U15		U13			U16		
8	茨 城	U15		U16	U13	U13	U13		U13 *2月開催
9	栃 木	U18	U16		U16				
10	群 馬	U18		U16					
11	埼 玉								
12	千 葉								
13	東 京		U16	U13		U13	U16	U13(36名)	
14	神 奈 川	U12					U13	U13 (73名)	U13(65名) U16(31名)
15	山 梨	U15				U16			
16	新 潟			U16	U13		U13	U16 (62名)	U13(27名) U16(51名)
17	長 野	U15	U13					U13・U16	
18	富 山	U12			U16	U13			
19	石 川	U15	U13			U16	U13		
20	福 井	U18	U16	U13				U13(47名)	
21	静 岡			U16	U13				U13 (58名)
22	愛 知				U16				
23	三 重	U18	U16	U13					
24	岐 阜	U12							
25	滋 賀	U18	U16	U13	U13				
26	京 都			U16			U13		
27	大 阪								
28	兵 庫						U13		U13(39名)
29	奈 良	U12							
30	和 歌 山	U15	U13						
31	鳥 取			U16					
32	鳥 根	U12							
33	岡 山		U13						
34	広 島	U18	U16		U13・U16	U13	U16	U16(56名)	
35	山 口	U15		U13		U16	U13・U16	U16	U13 (28名) U16 *3月開催
36	香 川	U12	U16		U13	U13	U13	U13 (69名)	U13(63名) U16(40名)
37	徳 島		U13		U16		U16	U16	U16 *1月開催
38	愛 媛	U15		U13		U16		U13	
39	高 知	U18		U16		U16	U13	U13	U13(名)
40	福 岡						U13	U16	
41	佐 賀	U15		U16		U16			
42	長 崎	U18							
43	熊 本				U13	U16	U13	U16 (39名)	U13(名)
44	大 分	U18						U13 (138名)	
45	宮 崎	U18	U13			U13			
46	鹿 児 島	U12	U16	U13	U16	U13	U16		
47	沖 縄	U12	U16	U16	U16	U16	U13・U16	U13 (54名) U16	U13(31名) U16(52名)

カテゴリー(人数)

都道府県別 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者数（陸上競技）

2019年10月1日付

都道府県	コーチ 1	コーチ 2	コーチ 3	コーチ 4	合計	女性指導者 人数	女性指導者 割合(%)	公認コーチ 女性
	JAAF公認ジュニアコーチ		JAAF公認コーチ					
北海道	91		16	7	114	19	16.7	1
青森県	56	2	15	5	78	10	12.8	1
岩手県	56		26	6	88	14	15.9	3
宮城県	57		8	2	67	11	16.4	1
秋田県	38		11		49	12	24.5	3
山形県	88		20	5	113	24	21.2	2
福島県	115		29	3	147	25	17.0	2
茨城県	39		28	11	78	5	6.4	
栃木県	38		20	4	62	6	9.7	1
群馬県	86	1	24	3	114	11	9.6	2
埼玉県	167	2	44	12	225	29	12.9	5
千葉県	106	2	43	11	162	20	12.3	2
東京都	291	3	75	20	389	74	19.0	12
神奈川県	162		28	9	199	34	17.1	1
新潟県	79	6	23	5	113	14	12.4	1
富山県	87		11	1	99	18	18.2	
石川県	55	1	9	3	68	10	14.7	
福井県	61		19	2	82	12	14.6	3
山梨県	34	12	17	4	67	6	9.0	
長野県	51	2	34	5	92	12	13.0	2
岐阜県	52	5	16	4	77	17	22.1	2
静岡県	113	6	25	6	150	19	12.7	1
愛知県	92		42	4	138	21	15.2	3
三重県	80	1	29	4	114	20	17.5	1
滋賀県	54		24	4	82	14	17.1	1
京都府	61		32	5	98	18	18.4	5
大阪府	136	3	17	3	159	25	15.7	
兵庫県	98		23	1	122	20	16.4	1
奈良県	31		17	1	49	9	18.4	2
和歌山県	85		9	4	98	11	11.2	1
鳥取県	42		8	1	51	6	11.8	
島根県	23		6	3	32	5	15.6	1
岡山県	46		13	5	64	14	21.9	1
広島県	130	3	23	7	163	38	23.3	4
山口県	65	2	13	5	85	10	11.8	
徳島県	30	1	11	1	43	10	23.3	2
香川県	44		19	3	66	13	19.7	2
愛媛県	40		19	4	63	15	23.8	1
高知県	36	1	14	1	52	5	9.6	1
福岡県	101	1	16	8	126	18	14.3	1
佐賀県	42		14	2	58	10	17.2	1
長崎県	56	7	15	1	79	14	17.7	2
熊本県	47	1	15	5	68	9	13.2	
大分県	42	14	14	1	71	15	21.1	1
宮崎県	85	2	17		104	18	17.3	
鹿児島県	68		28	1	97	19	19.6	1
沖縄県	36	1	2	2	41	5	12.2	
計	3,492	79	981	204	4,756	764	16.1	77

※平均

2019 年全国普及育成担当者会議

<都道府県陸協における指導者養成に関して>

2019 年 12 月 22 日

味の素ナショナルトレーニングセンター研修室

*8 グループ（1 グループ 6 名）に分かれ、下記テーマについて議論・意見交換。

15 分間のディスカッションと、各グループ 1 分間の発表を行なった。

<テーマ> 陸上競技の全ての指導者が資格をもって活動するために
～都道府県陸協と日本陸連ができること～

■1 班： 北海道・栃木・長野・滋賀・岡山・佐賀

指導者資格を取得するためのハードル（費用や時間等）が高い。これを下げる手立てを考えるべき。指導実績を加味することや、公認審判員など大会運営に関わることをポイント化するなどしてハードルを下げ、若い人も取り込み、資格を取りやすくしたらよいのではないか。

■2 班： 青森・群馬・富山・京都・広島・長崎

資格取得者のメリット、特典付与が重要。ジュニアコーチ向けの動画を作成、配信し、資格者のみが学べるなどで資格者にメリットを与えるなど考えたらよいのではないか。また、教育系大学で資格がとれるような仕組みを作る。

■3 班： 岩手・埼玉・石川・大阪・山口・熊本

資格取得までのハードルを緩和させること。特に小学生指導者やランニング指導者などに対しての資格を取りやすくする。

また、資格をとってからの活躍の場を広げることも重要。活用事例を挙げて拡げていく。

■4 班： 宮城・千葉・福井・兵庫・香川・大分

有資格のメリットと資格取得の困難さが合っていない。各都道府県ごとの事情もあるので、それを反映させられるよう、ブロック（地域）単位での意見交換や情報共有を行ない、改善策などを考えていければ良い。

■5 班： 秋田・東京・静岡・奈良・徳島・宮崎

保護者の関わり（保護者を巻き込むこと）が大事。

資格取得に関しては 1 日（1 日程度）でとれる制度があれば資格者が増える。資格取得と登録制を整備し、指導者のレベルアップが図れると良い。

■6 班： 山形・神奈川・愛知・和歌山・愛媛・鹿児島

資格取得のメリットが必要。

また、費用的な面での補助が必要。

■7 班： 福島・山梨・三重・鳥取・高知・沖縄

金銭面の負担が大きい。

学校体育と社会体育、それぞれにおいてライセンスの考え方がある。ライセンス（資格）のみで縛ると熱心な指導者が離れていく可能性もあるのではないか。

■8 班： 茨城・新潟・岐阜・島根・福岡・沖縄

指導者には大きく分けて教員と一般の 2 種類が存在。

大学のカリキュラムや教員免許の中の一部に指導者資格を入れてしまうなどすることで半分が解決する。あと半分が難しい。

2019 年全国普及育成担当者会議

＜都道府県陸協からの質問と回答＞

2019 年 12 月 22 日

味の素ナショナルトレーニングセンター研修室

指導者資格・指導者養成講習会関連

Q-1

-資料 1・2-

JAAF 公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 3）、受講条件の“原則ジュニアコーチ（コーチ 1）有資格者であること”に関して、“原則”ということは例外も可能ですか？

A-1

特別な場合を除き、公認コーチ（コーチ 3）の受講にはジュニアコーチ（コーチ 1）を保有していることを条件とします。それ以外の指導者を推薦する場合は、都道府県陸協から推薦文（コーチ 1 資格者と同等またはそれ以上に値する指導者であること）を提出していただきます。

なお 2021 年度からは公認コーチ（コーチ 3）の受講に際し、ジュニアコーチ（コーチ 1）の資格は必須条件となることをご理解ください。

高いレベルの経験を有する現場の指導者の方々の中には公認コーチ（コーチ 3）を単体でお持ちの方がいらっしゃいます。過去の制度では資格取得申請が出た時点で「段階的に資格を取得すること」が要求されてこなかったため、公認コーチだけを取得することが可能でした。そうした指導者が資格をそのまま更新されている場合には「コーチ 1 を持たないままコーチ 3 を保有している」状態が続いていることになります。

日本陸連では、制度を整備する以上、段階的に資格取得をしていただくのがあるべき姿だと考えています。

Q-2

-資料 4-

JAAF 公認ジュニアコーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ 1）、受講条件がこれまでの 18 歳以上から 20 歳以上に変更されたことについて、理由や考え方を説明してください。

A-2

将来的に全ての指導者が資格を取得して指導にあたることを考え、早い段階での資格取得、特に意欲ある大学生のチャレンジは非常に重要だと捉えています。一方で、条件を変える背景にはそれなりの事情がありました。陸上競技および指導者としての知識、経験の不足が、指導を受ける側（特に若い選手や子どもたち）に対して不利益を及ぼす恐れが指摘されて

きたからです。

指導者資格は、陸上競技を伝授される受講者の側に最大の利益がもたらされるようにとできあがったシステムです。経験の不足が、そこで教わる子どもたちに利益と同時に不利益を持ち込む可能性があるのなら、現条件の良さを認識してはいながらも、条件の設定を見直した方がよいとの結論になりました。

今後、指導者制度を整備する中で、経験・知見に合わせて段階を踏んで資格を取得していただくことが望ましいと考えます。また、大学生の資格取得に関しては、免除制度を始め、日本陸連としても重要事項として取り組みます。

Q-3

同ジュニアコーチの受講条件がこれまでの18歳以上から20歳以上に変更される場合、都道府県陸協（理事長）への通知をしていただきたい。

A-3

決定後、通知します。

Q-4

講習会の開催日数（3日間開催／4日間開催）については、2020年度も3日間／4日間、どちらも可能ですか？

A-4

3日間開催／4日間開催、どちらも可能です。

Q-5

-資料 1-

スタートコーチに関して、具体的な内容を教えてください。

A-5

スタートコーチは、日本スポーツ協会の指導者資格として2019年度に新設された資格です。日本陸連では現状スタートコーチの養成を行なっていません。今後はこの資格を取り入れることも視野に入れて指導者資格制度を検討します。検討内容については途中経過も含めて2020年度中に加盟団体へ通知すると同時に、各都道府県における指導者養成の中心となる方を対象に指導者養成に関する研修会を実施する予定です。

Q-6

-資料 5-

U13 指導者講習会の日本陸連派遣講師の人数と開催時期について教えてください。

A-6

日本陸連から 3 名の講師を派遣する予定です（開催要項に追記済）。
開催時期については、2018 年度、2019 年度は夏休み中の開催が中心でしたが、2020 年度は東京オリンピック・パラリンピック競技大会の影響等を考慮し、10 月以降の実施で募集します。

Q-7

-資料 6-

JAAF コーチングクリニックについて、都道府県内で告知・案内ができるよう、早く知らせていただきたい。

A-7

開催日程、内容等の決定は通常、開催の 3~4 カ月前となり、日本陸連ホームページや陸上競技マガジン（陸連時報）等でお知らせしています。今後は決定後、都道府県陸協宛てに通知することも検討します。

Q-8

-資料 7-

都道府県陸協で開催する指導者資格の更新研修に関して、開催申請、および終了後の報告の方法を教えてください。また、複数回開催する場合、提出は各開催毎に行うのでしょうか？

A-8

開催申請、終了報告（受講者名簿の提出）の方法およびフォーマットは日本陸連ホームページ（<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/fukyu/>）から確認してください。
また、研修会毎に日本スポーツ協会へ申請するため、それぞれ開催毎に提出してください。
終了報告は研修会終了後 2 週間以内にご提出ください。

Q-9

-資料 1-

日本陸連の指導者資格制度における考え方を説明してください。

A-9

現在は日本スポーツ協会と連動した指導者資格制度を採用しています。日本陸連では、競技者育成や、競技者・指導者を取り巻く環境を考え、様々な方面から資格制度の検討をしていきます。

なお、資格制度の検討にあたり、日本陸連独自の制度も検討していますが、受講者の負担（時間的負担、経済的負担）が大きくなることが懸念されます。一方で日本スポーツ協会の資格制度に準じる場合、競技の専門的要素が薄くなったり事務的な制約なども生じます。それらを総合的に判断し、陸上競技の発展および受講者（指導者）にとって有益な資格制度を目指しています。

普及事業関連**Q-10** -資料 8-

U10/U13/U16“みんな集まれ!!陸上”事業に関して、開催時期を教えてください。

A-10

10 月以降の実施で募集します。

Q-11

同事業について、要項に記載されている“指導者 10 名（10 名以上）の参加”とは、どのような指導者を集めればよいですか？

A-11

本事業では年代ごとの「走」「跳」「投」の基本的運動を実施し、その指導方法についての研修を行います。都道府県や地域において、実際の現場で小・中学生の指導にあたる教員、部活動顧問、クラブチーム等の指導者、またそれ以外にも、各地域や都道府県の指導者養成において、養成・育成が必要とされる方々に幅広く参加していただきたいと考えています。

Q-12

年度内に都道府県陸協主催で同様の講習会を開催する件について、説明してください。

A-12

日本陸連主催の講習会終了後、同年度内に都道府県陸協が主催し、講習会を開催してください。その際、日本陸連から 1 名の講師を派遣し、講習会をサポートします。

会場費、運営費、都道府県内の講師に関わる費用等は主催陸協（都道府県または地方陸協）にてご負担ください。日本陸連から派遣の講師（1 名予定）については日本陸連にて負担します。

講習会の運営については、上記（A-11）の通り陸連主催の講習会に参加した方、および都道府県での普及育成や指導者養成に関わる方々が中心となって、実施してください。

参加者（小学生・中学生）の人数や日程、進行時間等については主催陸協で設定してください。
また、講習会で使用する用具や備品に関して、日本陸連主催の講習会では、陸連にて手配（持ち込み）しますが、都道府県陸協主催で実施する際には、現地（開催会場や陸協備品等）にあるものを使用・利用して行なってください。

都道府県陸協において、より良い講習会（普及育成事業）が実施できるよう、日本陸連としてサポートすることがこの事業の目的であり、既存のリソースの中で無理なく開催する仕組みを作り、その後も継続的に開催していただくことを望んでいます。

小学生陸上関連

Q-13

-資料 10-

2020 年全国小学生陸上競技交流大会に関して。

2020 年は 3 日間開催になりますが、選手・指導者とも、全日程（3 日間）の参加が必要ですか？

A-13

大会要項内、参加資格・条件として「全日程（3 日間）の参加ができること」を明示します。
“日清食品カップ”全国小学生陸上交流大会においては、競技会だけが大会ではなく、研修会、競技会、フレンドシップパーティーなど全日程 1 つ 1 つの内容が全て大事な要素となり、3 日間を通して「全国大会」であることを旨としています。都道府県におかれましては、都道府県大会および選考会の開催に際し、所属チーム、指導者、保護者、選手に対して、事前に上記条件を説明、周知していただけますよう、ご協力願います。

また、ジュニア期（小学生・中学生）の子どもたちにとっては、全国大会以上に、都道府県大会や地区、地域の大会への出場、経験が大事であることもご理解の上、都道府県大会を開催していただければ幸いです。

Q-14

3 日目の終了時間は何時を予定していますか？

A-14

フレンドシップパーティー（交流会・研修会）の終了は 11 時 30 分頃、選手団の解散は 12 時頃を予定しています。

Q-15

復路についても全員が決められた交通機関での移動ですか？

A-15

復路のあり方については、選手団の安全を最優先とし、経費面も考慮した上で、関係組織とできる限りの前向きな検討を重ね、あるべき結論に導きたいと思います。

4月末に再度途中経過も含めて連絡をいたします。

Q-16

大会要項はこの時点で陸協内でオープンにして良いですか？

A-16

大会要項の正式発表は4月以降となります。現在提示している大会要項（案）に関して陸協内関係者への共有は可能です。ただし今後変更が生じる場合があります。

Q-17

全国小学生クロスカントリーリレー研修大会が終了しましたが、それに替わる長距離種目（800m、1500m など）の実施は無いのでしょうか？

A-17

現時点では今後の長距離走種目実施は考えていません。

小学生期の長距離走種目（過度なトレーニング含め）に関しては、ワールドアスレティックス（世界陸連）からも警告が発せられており、慎重に考える必要があります。競技種目やトレーニング、指導方法等、時代に合ったものを見極め、取り組むことが重要です。また、持久系の優秀な競技者および指導者の能力を埋もれさせてはいけないということも考えています。日本陸連は、その時点における最良のものを求め、提示していきます。

Q-18

小学生の大会参加同意書は保護者の署名のみで良いでしょうか（現状は保護者署名と捺印）？

A-18

2020年度から、保護者の「自筆署名のみ」とします。

Q-19

小学生の登録について検討していますか？

A-19

日本陸連として、アスレティックスファミリーを増やすことを重要な目標の一つとして掲げています（「JAAF VISION 2017」参照）。小学生に限らず、全ての競技者、指導者、審判等の登録に関して検討をしています。

Q-20

コンバインドは男女各2名ずつの出場となりますが、コンバインドBのジャベリックボール投について、時間の検証は行なっていますか？

A-20

2019年度の競技時間（所用時間）実績をもとに検証を行なった上で、2020年度の競技日程を考えています。

Q-21

スタートはクラウチングスタートのみとなりますが、スターティングブロックの使用は無しでも良いでしょうか？

A-21

スターティングブロックは使わなくても問題ありません。

Q-22

コンバインドの種目実施順については早めに検討してほしい。

A-22

2020年度から種目の順序についての決まりを外します。従って各都道府県選考会でも出場者を考慮してタイムテーブルを作成してください。全国大会については、種目の順序について4月末までに発表する予定です。

Q-23

得点表について、種目による偏りがあるように感じます（ジャベリックボール投の得点が高いなど）。得点表の見直しは行いますか？

A-23

2020 年度は現在の得点表を用います。ただし、各種目とも最低得点を 50 点（ジャベリックボール投は 60 点）とします。

得点表は過去の結果に基づき、専門家による分析のもと、作成しました。今後、コンバインド種目の結果が蓄積され、得点表の改定が必要と判断される場合には改定を検討します。なお、種目の特性や記録の幅、また選手の特性などにより、種目による得点の高低を感じることもあると思います。得意種目をより伸ばすことに加え、不得意な種目にも楽しく取り組めるよう工夫して苦手を克服するなど、コンバインドを指導に活かして、広く長い目で見た指導、競技者育成を行なっていただきたいと考えています。

全国普及育成担当者会議**Q-24**

全国普及育成担当者会議の開催時期は 11 月頃を希望します（都道府県陸協内における日程調整等が理由）。

A-24

次年度の全国普及育成担当者会議は、11 月～12 月の中で検討します。

※本資料に記載の検討案件、その他指導者養成および普及育成に関する情報に関して、次回は 2020 年 4 月末に掲載を予定しています。

JAAF

LIVE ATHLETIC

よりアスレティックでいよう
ライブのアスレティックを体験しよう